

世界神話としての済州神話の可能性に関する研究

- アトランティス神話を中心に

2022. 12. 27

大真大学校 チェ・ウォニョク

Table of Contents

I. はじめに

II. スンダランドの中心地としての済州島

III. アトランティス神話と済州神話の比較

IV. 君子国と済州神話の比較

V. おわりに

1. はじめに - 濟州神話に対する濟州島の政策的支援



神秘の島・濟州を襲った悪鬼「情炎鬼」に立ち向かうため数千年を耐え抜いた「バン」をはじめ、運命の中心に立つ「ミホ」、地上最高の最年少エクソシスト司祭「ヨハン」が、冷酷な因果律の枷から逃れる方法を探し求める。

総製作費200億ウォン以上。



22年にわたる大工事（役事）。面積はなんと97万㎡（約30万坪）。総事業費は1855億ウォン（国費905億ウォン、地方費950億ウォン）。濟州石文化公園は、公園全体が雪門台ハルマンを中核テーマとして展開されていると言っても過言ではない。



濟州の外資誘致における最高記録（15億ドル、約1兆7000億ウォン）を更新した
濟州神話ワールド全景

1.はじめに - 濟州神話の世界性



濟州島の創世神話の枠組みは『聖書』や『ポ波尔・ヴフ』神話と共通点がある。

シン・ヨヌ、ソウル科学技術大学校
文芸創作学科 シン・ヨヌ教授



濟州神話を代表する雪門台ハルマン神話が、世界的にも稀な偉大な女性神話の原型であることに注目した

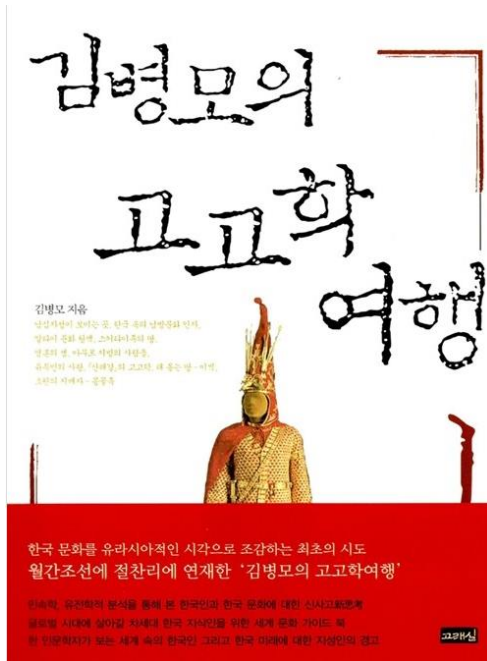
コ・ヘギョン、〈神話と夢アカデミー〉院長



差使本解・天地王本解に作家の想像力を加えて新たに再誕生

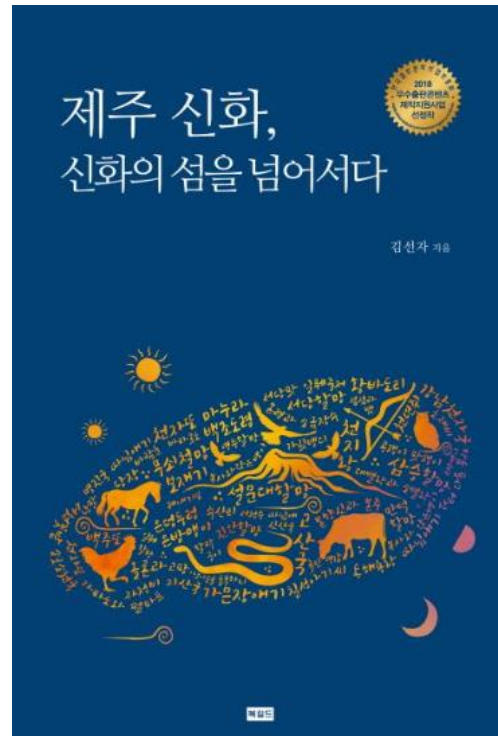
チュ・ホミン、『神と共に』原作者

1.はじめに - スンダランド以前の研究



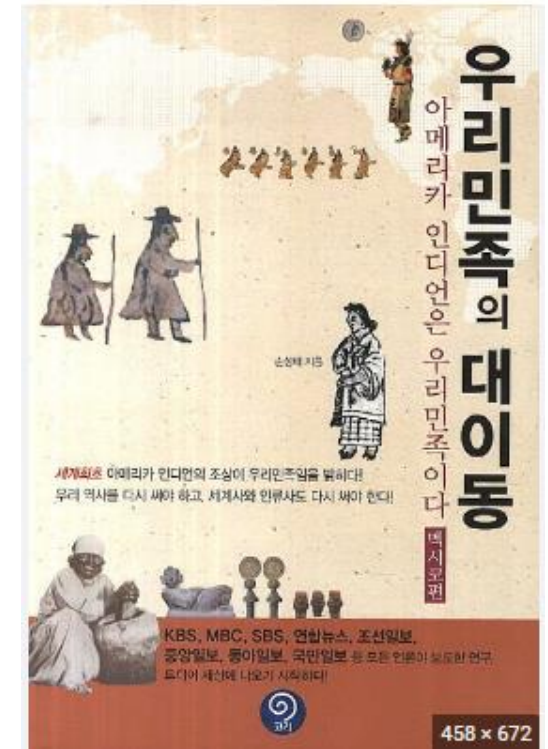
トルハルバンは、インドネシア・バリ島のブサキ寺院の石像がその起源。

「ペルー（インカ文明）→
イースター島モアイ石像→
インドネシア・バリ島（ブサキ寺院
石像）→フィリピン→
済州島トルハルバン。」
新東亜、メン・ソンリョル、2013.9



もともと済州は大陸と海洋の神話的要素が会合する土地であり、それゆえ神話史的視点から見ると済州神話は「ハイブリッド」であって、それは済州神話が済州という「島」を越えて世界と出会う接点となる。

キム・ソンジャ、神話学者



アメリカ先住民の古語である「ナワトル語」と韓国語の「古語」との間に、語順や発音、文の構造的・形態論的な面などが一致することが明らかになった」

ソン・ソンテ、培材大教授、

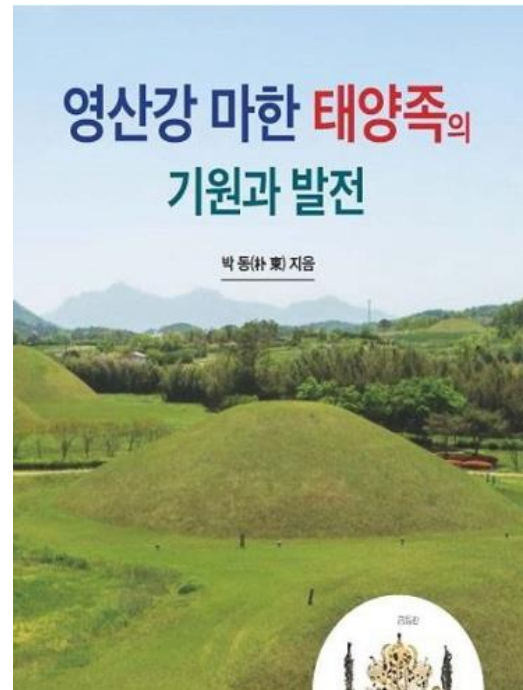
1.はじめに – スンダランド以前の研究



トルハルバンは、インドネシア・バリ島のブサキ寺院の石像がその起源。

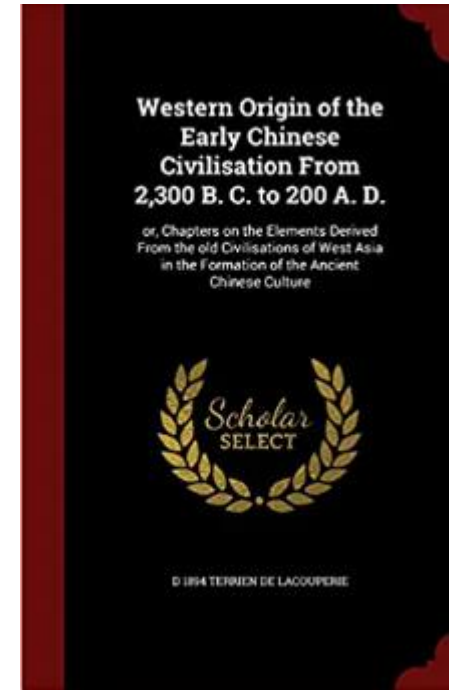
「ペルー（インカ文明）→
イースター島モアイ石像→
インドネシア・バリ島（ブサキ寺院
石像）→フィリピン→
済州島トルハルバン。」

新東亜、メン・ソンリョル、2013.9



もともと済州は大陸と海洋の神話的要素が会う土地であり、それゆえ神話史的視点から見ると済州神話は「ハイブリッド」であって、それは済州神話が済州という「島」を越えて世界と出会う接点となる。

キム・ソンジャ、神話学者



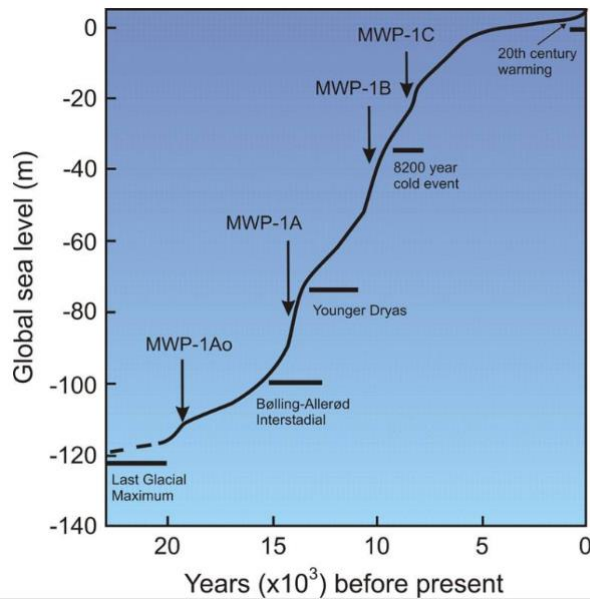
Western Origin of the Early Chinese Civilisation From 2,300 B. C. to 200 A. D.

ソン・ソンテ、培材大教授、

1. はじめに – スンダランド



Dino Mozardien
Bandung, Indonesia



「スンダランド」という名称は1949年にファン・ベメレンによって初めて提唱され、続いてカティリ（1975）、ハミルトン（1979）、ハッチソン（1989）が、ユーラシアプレ東南アジアの大陸核を描写するために提案された。

Dhani Irwanto, 2015

1.はじめに – スンダランド以降の研究

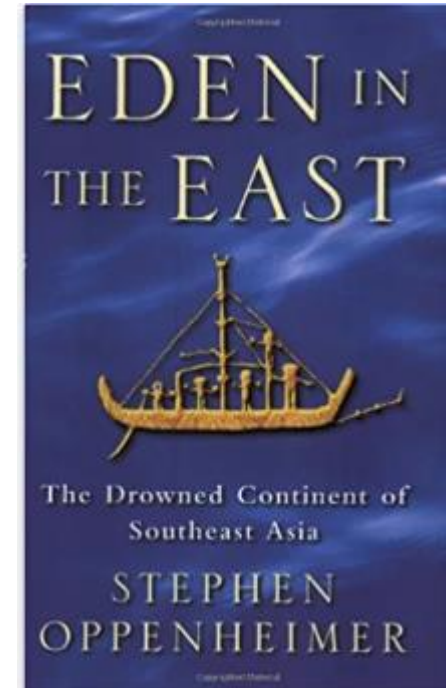


KBSパノ라마ー コリアンイブ
第2篇、秘密の鍵 スンダランド /
KBS 2014年9月12日放送



「歴史時代以前に科学文明が存在...
古代エジプト・メソポタミア文明
東南アジアの『スンダランド』に由
来し
スンダランド人が定着した南米の高
原...
『神々の故郷』エデンの園となった
」

- 7 -
メン・ソンリョル 又石大学教授 (



約1万年前、エデンの園が東南アジア
のスンダ列島にあったという結論を
収めた著書『東のエデン』を出し、
学界に論争を巻き起こしたことがあ
る。

スティーヴン・オッペンハイマー、
東のエデン

Table of Contents

I. はじめに

II. スンダランドの中心地としての済州島

III. アトランティス神話と済州神話の比較

IV. 君子国と済州神話の比較

V. おわりに

II. 스ンダ란드의中心地としての濟州島

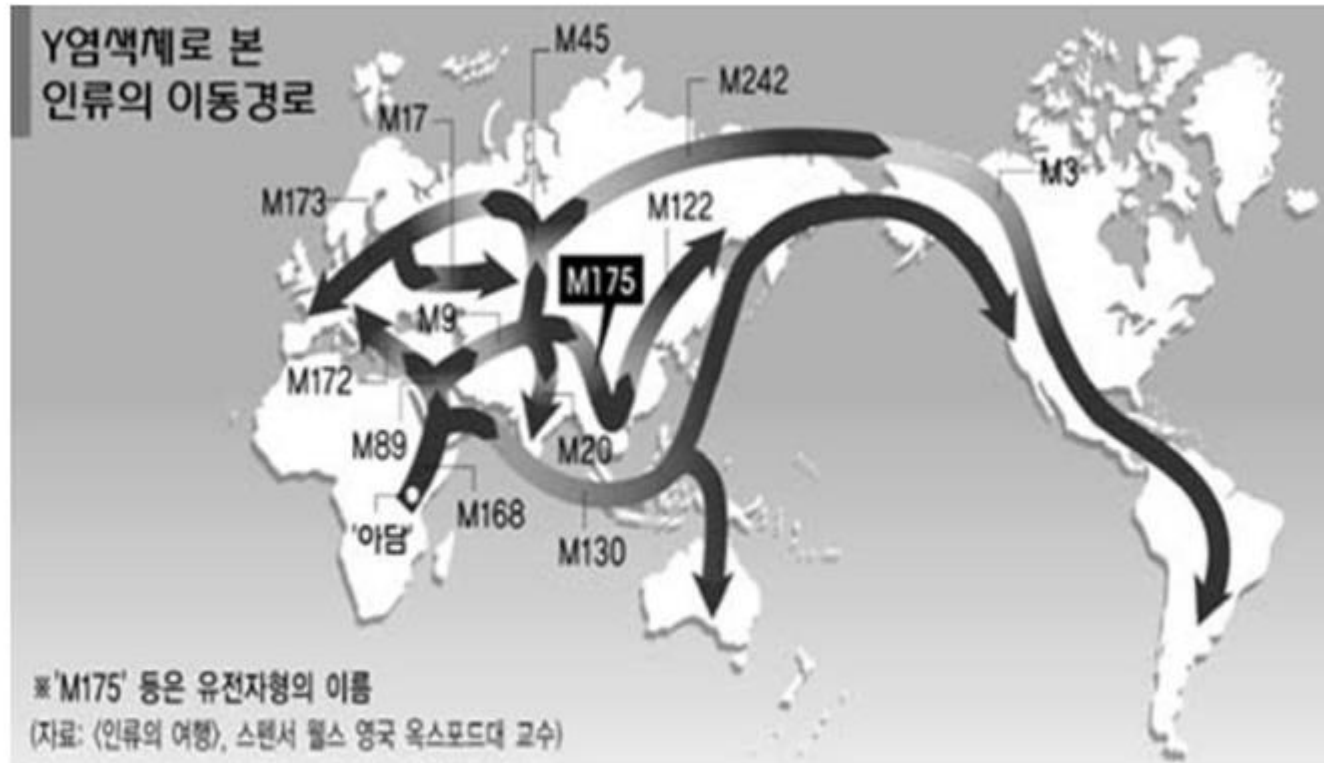


KBS 파노라마
코리안 이브



가덕도 유골서 7천년전 '유럽형 유전자' 발견

II. 스칸디나비아의中心地としての濟州島



KBS 파노라마 코리안 이브

II. スンダランドの中心地としての済州島



기후는 급격하게 변화하지 않는다. 하지만 '드리아스기'라면 이야기는 달라진다. 10년이라는 비교적 짧은 시간에 걸쳐 기후가 완전히 달라지기 때문이다. © ScienceTimes

急激な気候変動は不可能なことでもない。実際『ヤンガードリアス』（Younger Dryas stadial）で起こったことである。

ドリラス期は3期に分けられる。古い順から最古期（BC 14000 ～ BC 10400）、古期（BC 10000 ～ BC 9800）、新期（BC 9000 ～ BC 8200）：ヤンガードリアス

などである。最古期と古期には夏の気温が約摂氏8～9度ほどと寒冷で、新期からは摂氏11度以上へと温暖になる。

II. スンダランドの中心地としての済州島



エジプトで最も古いピラミッド：5000年
英国日刊紙デイリーメール
インドネシア・西ジャワ地域で発見
サンプル調査の結果
9000～2万年前に製作されたものとみられる。

2015.4.3 KBSニュース広場



카탈의 원형 광장 유적지(출처: <http://www.perubuddy.com>)

古代後期（**Arcaico Tardío** 紀元前3000 - 1500年）に形成され始めた都市文明の痕跡が、アンデス最古のカラル遺跡である。カラルの規模は**0.66km**ほどで、三千人以上の住民が居住していたとみられる。

ルース・シャディがカラルで約五千年以上前のピラミッドを発見した。それだけでなく、円形競技場やその他の住居址を伴う典型的な都市を発掘することとなった。ピラミッドもまた大型で、面積はサッカー場四面ほどの大きさ、高さは18メートルに及ぶ大規模なものであった。このピラミッドが建設された頃、エジプトでもピラミッドが建てられていた。エジプトのピラミッドがファラオの権力を象徴する巨大な墓であるとすれば、カラルのピラミッドは神殿であり都市の象徴としての機能を果たしていたとみられる点が異なる。この点はラテンアメリカのピラミッドの共通点でもある。（カン・ソンシク、ソウル大学講師）

II. スンダランドの中心地としての済州島

- 済州のトルハルバン、ボリビアのティワナク石像、チリ西方イースター島のモアイ石像、インドネシア・バリのブサキ寺院石像
 - スラウェシ諸島セレベス島の石像
- 海路で2万5000kmも離れた場所の石像が不思議なほど似通っている。
 - シカゴ大学ロバート・ショック
1万年前と主張

• 紀元前1万5000年に建設されたという主張もあり、紀元前9300年に建設されたという主張もある。米国の考古天文学者ニール・スティードは紀元前1万年と主張した。ネヴァリ・チョリの神殿はティワナク石像より後に造られ、遺跡破壊が崖を築界は判断ストリア生まれの考古学者アルトゥール・ポスナンスキー（ラパス大学教授）1万5000年前に建設され、1万1000年頃に自然の大変動によって滅亡したと主張

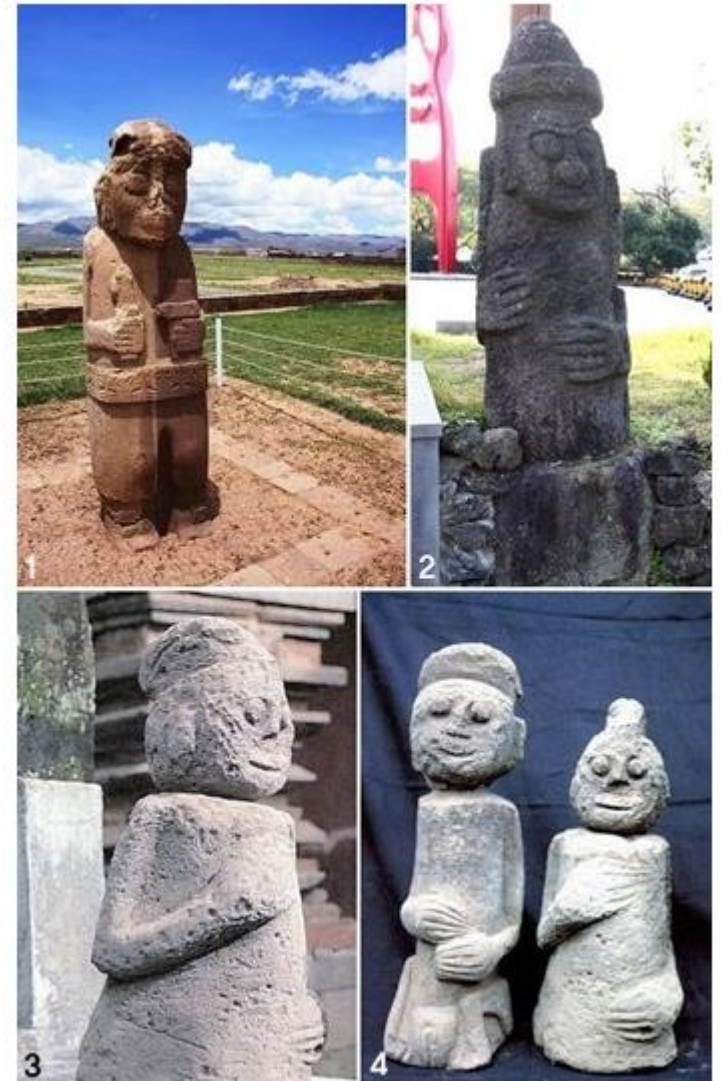
『エル・フライレ』と呼ばれるこの石像は、済州のトルハルバンのように両手を前に合わせ、目にはゴーグルをかけているような姿であった。

インカはティワナクを先代文明、すなわちそれを基盤として生まれたといえる。

メン・ソンリョル（又石大学電気電子工学科、新東亜、2013）



터키 네발리 코리 돌기둥 석상(위), 볼리비아 티와나쿠 석상 조각



1 볼리비아 티와나쿠의 엘 프레일레 2 제주도 돌하르방 3 4 발리 석상

II. スンダランドの中心地としての済州島



与那国島海底遺跡

Yonaguni underwater monument

現在は紀元前8000年頃の人工遺跡であるとする説と、自然の潮流などによって形成された独特の地形であるとする説が対立している



제주 고산리 토기

1990年代初頭、ここで隆起文土器が一点出土した。年代を測定すると約BC8000年前まで遡った。約1万年前に祖先が使っていた器である。しかし、この高山里土器の上部文様、すなわち横に引かれた三本の縞模様は新羅土器にも登場した。掘れば掘るほど謎が現れる場所がある。済州島の高山里がそうである。

II. スンダランドの中心地としての済州島

群山西部海域は最低46mから最高92mの水深分布を示し、平均水深は約78mと調査された。全般的な海底地形は強い潮流の影響で潮流方向と同一に発達した砂堆(sand ridge)が北東-南西方向に長く分布していることが明らかになり、水深70mの海底で砂州が非常に明瞭に形成されていることが確認された。

黄海および南海は大陸棚から成り、面積は陸地面積の約3.5倍にあたる345,000km²

黄海は水深80m未満の浅い海で、全域が大陸棚に属している

大陸棚が広く形成されている海域は、北海を含む英国周辺地域、インドシナ半島とインドネシア周辺の南シナ海・ジャワ海、オーストラリアとニューギニア島間のアラフラ海(Arapura Sea)、黄海と東シナ海域、ベーリング海の東半部地域、北アメリカの東海岸、南アメリカのアルゼンチン海岸地域、北極海のユーラシア大陸縁辺部地域である。【出典:韓国民族文化大百科事典(大陸棚(大陸棚))】

国立海洋調査院、黄海の大陸棚海底地形の秘密を明かす。2016.1.18



12000년전~8000년전까지 해수면



5000년전~현재까지 해수면

II. スンダランドの中心地としての済州島

司馬遷 / 史記 封禪書

自威宣燕昭，使人入海，求蓬萊方丈瀛州。此三神山者，其傳在渤海中，去人不遠，患且至，則船風引而去。蓋嘗有至者，諸僊人及不死之藥皆在焉。其物禽獸盡白而黃金銀爲宮闕。未至望之如雲，及到三神山反居水下。臨之風輒引去，終莫能至云。世主莫不甘心焉。及至秦始皇并天下，至海上，則方士言之不可勝數。始皇自以爲至海上而恐不及矣，使人乃齋童男女入海求之。船交海中，皆以風爲解，曰未能至，望見之焉。其明年，始皇復游海上，至琅邪，過恒山，從上黨歸。後三年，游碣石，考人海方士，從上郡歸。後五年，始皇南至湘山，遂登會稽，並海上，冀遇海中三神山之奇藥。不得，還至沙丘崩。

齊の威王と宣王、燕の昭王以来、人を海へ派遣して蓬萊、方丈、瀛洲を探させることが多くなった。

伝説によれば、この三神山は渤海の中にあってその道は遠くなかったが、仙人たちは船が到着するのを気にかけ、すぐに風を起こして船を遠くへ追いやったと伝えられる

これは十洲記に記録された「水流が大きく荒く、恐ろしい波が打ち寄せる。」という記述と一致する。

渤海は元々「干潟」を意味するシッダム語である。東国正韻に記録された渤の字の正確な発音は「ポル」である。すなわち、干潟を指す。また、シッダム語辞典には大平原の意味もある。



〈그림 3〉 중국 사서(史書)에서 발해 동쪽에 있다고 한 삼신산. 하늘에 천제 지내던 감비고차(강화도)가 방장이었고, 오름이 많은 제주도가 영주였고, 한반도가 마고지나(麻姑之那)였다. 마고지나는 마고의 나라라는 뜻이다.

II. 스ندا란드의中心地としての濟州島

高夫養

禹圭一「耽羅建国の主人公-三姓穴

三神人の正体、日本国(碧浪国)三公主との出会い」、韓中親善協会

中国徐福文化国際論壇 発表資料、2009、韓中親善協会 中国徐福文化国際論壇
発表資料、2009



<그림 1> 산둥반도와 중국 동해안의 지형 변화(기원전(BC) 5500-BC 1300). 황색은 후에 간척지. BC 5500년경 산둥 반도가 2개의 섬으로 돼 있다가 BC 1300년경 연륙이 끝나 간척지가 만들어지고, 현재(완신세完新世)의 지형이 됐다

Table of Contents

I. はじめに

II. スンダランドの中心地としての済州島

III. アトランティス神話と済州神話の比較

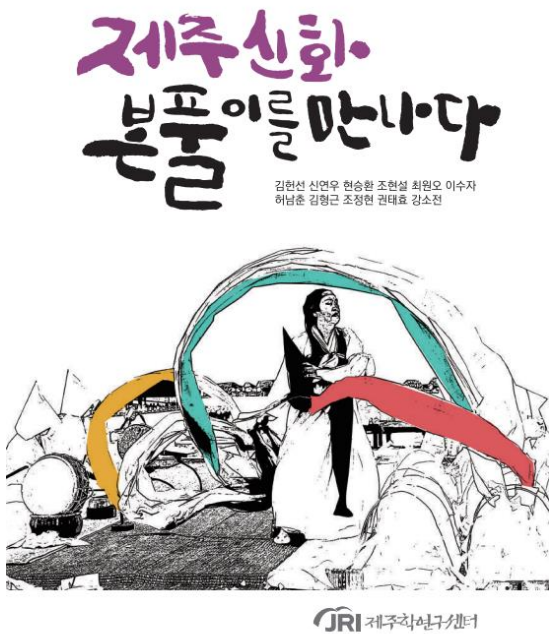
IV. 君子国と済州神話の比較

V. おわりに

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較



Ⅲ. アトランティス神話と済州神話の比較



済州島の創世神話の枠組みは『聖書』や『ポ波尔・ヴフ』神話と共通点がある。

シン・ヨヌ、ソウル科学技術大学校
文芸創作学科 シン・ヨヌ教授



済州神話を代表する雪門台ハルマン神話が、世界的にも稀な偉大な女性神話の原型であることに注目した

コ・ヘギョン、〈神話と夢アカデミー〉院長



差使本解・天地王本解に作家の想像力を加えて新たに再誕生

チュ・ホミン、『神と共に』原作者

Ⅲ. アトランティス神話と済州神話の比較



朝鮮英祖47年、1771年に済州島の儒者であった張漢喆が科挙を受けに行く途中で台風に遭い、琉球王国(沖縄)へ漂流して経験した出来事を記録した書

ソルムンデハルマンに関する文献記録のうち最も古いものとして知られる張漢喆の『漂海録』-国立済州博物館

或起拜向漢拏而祝曰 白鹿仙子活我活我
訖麻仙婆活我活我
盖耽羅之人諺傳仙翁騎白鹿遊于漢拏之上
又傳邃古之初有訖麻姑步涉西海而來遊漢拏云

[あるいは(商人たちの一部が)立ち上がって漢拏山に向かって拝み、こう言う「白鹿仙子よ、(私たちを)お助けください、お助けください!仙麻仙婆よ、(私たちを)お助けください、お助けください!」と祈願する。そもそも耽羅人の古い言い伝えに、仙翁が白鹿に乗って漢拏山の上で遊んだといい、また遥かな昔、初めて仙麻姑が歩いて黄海を渡ってきて漢拏山で遊んだという。]

-1771年正月初五

一つは『訖麻仙婆(仙麻仙婆)すなわち訖麻姑(仙麻姑)』である。つまり、『仙麻(姑)』と『仙文(大ハルマン)』は外形上似た文字であるから両者は同一人物であるということである。『仙文大』は『ソルムンデ』の異形である。もう一つは『初めて仙麻姑が歩いて黄海を渡ってきて漢拏山で遊んだ』である、つまり、仙麻姑が背丈が漢拏山ほどのソルムンデハルマンでなければ、黄海をざぶざぶと歩いて渡ってくることはできなかったであろうということである。出典:メディア済州(<http://www.mediajeju.com>)

Ⅲ. 아틀란티스神話と濟州神話の比較



BC7万年

Ⅲ. 아틀란티스神話と濟州神話の比較

〈마고의 영역〉



BC1.2万年

Ⅲ. 아틀란티스神話と濟州神話の比較



III. 아틀란티스神話と濟州神話의 比較



BC0.23万年

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較

- 1)海の神ポセイドンは右手に槍の一種であるトライデント、左手にイルカを持っており、彼は神々の王クロノスの息子の一人で、兄弟たちとともに世界を分割統治していた。
- 2)ゼウスは大地を、ハデスは地下世界を、ポセイドンは海洋の支配権を持つ神であったが、ギリシアの神々はポセイドンにアトランティス島を支配させた。
- 3)島の平野地域にある丘には、大地から生まれた一組の人間の夫婦とその一人娘クレイトーがいたが、夫婦が死んだ後、その娘に情欲を感じたポセイドンは彼女と結婚したのである。
- 4)ポセイドンは丘の周囲の大地を砕いて海水を引き入れ、その結果、島の中央部を軸として円い形の陸地が二重に取り囲む形状となった。
- 5)当時の人々は船や航海術をまったく知らなかったため、誰一人中央にあるクレイトーの住居に近づけず、この地にポセイドンは温泉と冷泉が湧き出る二つの泉を掘り、大地にはあらゆる種類の作物が豊かに実るようにしたが、ここは後に中央島と呼ばれ王国の首都となった。
- 6)ここでポセイドンと人間の娘は五組の双子の息子を産み、アトランティス島を10分割して息子たちをそれぞれの王とし、最も年長の息子が彼らの指導者である王の中の王となった。
- 7) その息子の名がアトラス (Atlas) であったため、この島はアトランティスと呼ばれるようになった。アトラス一族は才能に秀でた人物を多く輩出したが、必ず最年長者が王権を継承し、幾世代にもわたって繁栄が続いた。他の王国も同様に繁栄したが、これらの王国の間には厳格な規律があり、常にこの規律を遵守した。

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較

- 8) その規律とは、アトランティス内部での争いを厳しく禁じ、もしいずれかの王国で王家を転覆させようとする反乱が起これば、各王国の王は互いに力を合わせてこれに立ち向かって戦い、アトラス一家の指揮に従うというものであった。また、王の中の王であっても、十人の王のうち過半数の同意を得られなければ、いかなる兄弟王をも処罰する権限を持たなかった。
- 9) ポセイドンの十人の王の子孫たちは互いに結束して国土の整備と開発に努めた。まず始祖の居所であった中央島を取り巻く海路に橋を架け、要所にはトンネルを掘り、神殿を築いた。大きな船でも出入りできるよう幅が広く水深の深い運河を縦横に造り、運河の入口にはドックも設けた。
- 10) いくつもの神殿の中でも特に豪華で壮大だったのはポセイドンを祀る神殿であり、横約180メートル、縦約90メートルの巨大な建築物で、外装はすべて銀板、屋根は黄金板で覆われ、内部の天井はすべて象牙で造られ、金や銀、真鍮、白金などで装飾されていた。
- 11) この神殿には多くの黄金像が置かれていたが、最も大きなものは戦車の上に立ち六頭の天馬を走らせるポセイドン像であり、神殿の周囲には歴代の王の黄金像や市民が奉納したもの、そして他国の王が献上したものがずらりと並んでいた。
- 12) この中央島を取り巻く円形の陸地にも、その用途に応じて戦車競技場や近衛兵の兵舎など様々な建築物が造られ、最も外側には一般の家屋が密集していた。港は世界各地から訪れた貿易商人や船員でたいへん賑わっていた。
- 13) プラトンの詳細な記録によれば、この島の南には広大な大陸があり、そこは高い山々に囲まれ、青草の茂る広い平野であった。王国はこの地にも碁盤の目のように秩序正しく運河を造った。
- 14) 平野は東西533キロメートル、南北355キロメートルの長方形で、周囲を幅180メートルの大運河が取り囲み、東西南北を横断する数十本の水路もあった。人々はこの水路を利用して木材や作物を運んだのであり、この平野では運河のおかげで一年に二度収穫できたという。

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較

- 15) アトランティスの平野部分は6万の地域に分けられており、これらの地域では男性の指導者がそれぞれ一名ずつ選抜され、軍事体制もこの指導者の指揮のもとにそれぞれ組織された。
- 16) 戦車は六地域に一台、各地域に戦車用の馬二頭、騎手二名、騎兵と走者各一名、重装備の歩兵弓兵・投石兵各二名、軽装備の投石兵・投槍兵各三名、そして1,200隻にのぼる船舶の乗員として四名ずつを徴兵する義務が課された。おおまかに計算しても陸軍100万人、海軍24万人という強力な軍事組織を有していたということになる。
- 17) アトランティス王国は豊かな産物を有し、その上に交易も盛んで大いに発展したが、永遠に続くかに見えたこの楽園にも次第に邪悪な影が差し始めた。
- 18) プラトンはその理由を、アトランティスの人々が贅沢に味を占め、富と物質のみを追い求めた結果、その神的な性格を失ってしまったからだと論評している。
- 19) アトランティスの人々はもともと神と人間の混血であり、初めの数世代の間は彼らの中で神としての性質が優位を占め、温和で思慮深く、非常に高邁な精神を保つことができた。しかし世代交代が続くにつれて次第に人間の性質が強まると、莫大な財産がかえって重荷となり、贅沢に溺れて自制心を失い、富のためには他の重要なものを顧みなくなったのである。
- 20) プラトンは、アトランティス王国がアテネ侵攻を企てたが、アテネ軍の果敢な反撃により敗れて退いたとし、神がその力をアトランティス側からアテネ側へ移した結果だと説明する。
- 21) さらに大地震と洪水が襲い、アトランティスは民族と文化遺産をそのまま抱えたまま海中に沈んでしまい、大量の土砂が海底に堆積してジブラルタル海峡はギリシア人の航海を妨げるようになったという。

III. 아틀란티스神話と濟州神話の比較 - 符都誌



징심록(澄心錄) - 15지(誌)			
구분	상교(上敎)	중교(中敎)	하교(下敎)
1	부도지(符都誌)	사해지(四海誌)	농상지(農桑誌)
2	음신지(音信誌)	계불지(袈裟誌)	도인지(陶人誌)
3	역시지(曆時誌)	물명지(物明誌)	?
4	천웅지(天雄誌)	가악지(歌樂誌)	?
5	성신지(星辰誌)	의약지(醫藥誌)	?

징심록은 3종류(상교, 중교, 하교) 15권의 지誌로 구성
추가) 금척지, 징심록추기 = 모두 17권

신라시대 충신

김부식의 삼국사기
와 일연의 삼국유사
에 등장

망부석 이야기
유명

부도지 기록

III. アトランティス神話と済州神話の比較



마고							
궁희				소희			
황궁씨	청궁씨	천녀1	천녀2	백소씨	흑소씨	천녀3	천녀4
아들	아들	딸	딸	아들	아들	딸	딸

Ⅲ. 아틀란티스神話と濟州神話の比較

구분	실(實)	허(虛)
마고대성(麻姑大城)	실달지성(實達之城)	허달지성(虛達之城)
마고의 비행물체	지구(행성)	달(위성)

선천의 시기			
위치	상부(윗쪽)		하부(아랫쪽)
구분	마고대성	허달대성	실달대성
병렬	마고성이 허달성과 함께 실달성 위에서 병렬하였다.		

Ⅲ. 아틀란티스神話と濟州神話の比較

마고성에 지유(地油)가 나오기 시작했다.			마고성의 변화
구분	이희(궁희와 소희)		지유가나옴에 따라서 이희가 사천인 사천녀 를 낳고 지유(地油)를 먹여서 길렀다.
생산(출산)	사천인(四天人)	사천녀(四天女)	
목적(임무)	집률-울을 맡다.	집려-려를 맡다.	

1. 제 1장 원문

麻姑城은 地上最高大城이니 奉守天符하여 繼承先天이다. 城中四方에 有四位天人이 提管調音하나, 長日 黃穹氏요, 次日 白巢氏요, 三日 靑穹氏요 四日 黑巢氏也라. 兩穹氏之母曰穹姬요 兩巢氏之母曰巢姬니, 二姬는 皆麻姑之女也라. 麻姑는 生於朕世하여 無喜怒之情하니, 先天爲男하고 後天爲女하여 無配而生二姬하고, 二姬도 亦受其精하여서 無配而生二天人二天女하니 合四天人四天女였다.

III. 아틀란티스神話と濟州神話の比較-符都誌

1. 麻姑城은 地上最高大城이니 奉守天符하여 繼承先天이다.
마고성 지상최고대성 봉수천부 계승선천
2. 城中四方에 有四位天人이 提管調音하니
성중사방 유사위천인 제관조음
3. 長曰 黃穹氏요, 次曰 白巢氏요, 三曰 靑穹氏요 四曰 黑巢氏也라.
장왈 황궁씨 차왈 백소씨 삼왈 청궁씨 사왈 흑소씨야
4. 兩穹氏之母曰穹姬요 兩巢氏之母曰巢姬니, 二姬는 皆麻姑之女也라.
양궁씨지모왈궁희 양소씨지모왈소희 이희 개마고지녀야
5. 麻姑는 生於朕世하여 無喜怒之情하니, 先天爲男하고 後天爲女하여 無配而生二姬하고,
마고 생어짐세 무희로지정 선천위남 후천위녀 무배이생이희
6. 二姬도 亦受其精하여서 無配而生二天人二天女하니 合四天人四天女였다.
이희 역수기정 무배이생이천인이천녀 합사천인사천녀

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較

1. アトランティスの存在時期；BC 9,570年 ~ BC 9,000年頃
2. 滅亡事由；大地震と大洪水
3. 位置；地中海の外の巨大な大洋に位置する大陸の港湾

任煥永は、プラトンの言うアトランティスはマゴ族が移動していったアメリカで誕生した新たな氷河期文明だと言えるとする。1、2、3の事項を見ると、氷河時代末期としてBC 9,000年頃に後氷期が始まり海水面が140m上昇したのだから、アトランティスは明らかに巨大な大陸棚がよく発達したアメリカ西インド諸島付近か、東アジアの沖縄付近であったに違いないという。ギリシア・ローマ以前のヨーロッパは継続的にアメリカの侵略を受けていたという。

こうした物語の源はエジプトの祭司がSolonに伝えたものであり、それが彼の友人であるDropidesに伝えられ、さらにその友人と曾孫であるCritiasとの対話の形でプラトンが記録したものであるが、Critiasはプラトン (Platon) の曾祖外祖父にあたるため、プラトンが海の神ポセイドンの部分を脚色したものと見られるという。

ソロンはギリシア屈指の政治家であり、決していい加減な話を受け入れて伝えるような人物ではなく、プラトンもギリシアを代表する哲学者として今日まで頻繁に人の口に上る大学者であり、たわごとを口にするような人物ではなく相当な根拠があったのであって、プラトンのかの有名なアイデア論はアトランティスに由来するものとも見ることができる。

韓国語の「アドゥル (息子)」やアトランティスはいずれも北ソト語に由来するが、韓国語の〈물 (水)〉も北ソト語のmoela (stream) に由来したものであり、韓国語の中でオギヤ・オヨチャなど水に関わる謎めいた言葉はすべて北ソト語であり、アメリカ・インディアン語も大部分が北ソト語に由来した。

任煥永のほかにもスندگانと済州島を結びつけた研究者たちは、三姓穴神話も再解釈する。三姓穴神話の

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較

マゴ婆をはじめとするマゴ族は、エルサレム（要塞の意）である孟骨群島の流域を離れ、アメリカのメキシコにある新たなエルサレムへ移住した。〈エルサレム（Yerushalayim）〉はルワンダ語のyerurutsa（to hide）＋〈セソト語のsala＋ルワンダ語のima〉であり、暮らしを隠すという意味で、要塞から成る〈城〉を意味する。符都誌のマゴ城もまた城の意味を持っている。珍島南部の孟骨群島こそが、まさにプラトンの言うアトランティスであったという。メキシコのインディアンは北ソト族であり、マゴの後裔であって、セソト族であるケルト族は後氷期に北方の五大湖やミシシッピ川流域へ移住した後、大西洋を渡ってヨーロッパと北アフリカ西海岸に上陸した。このとき南米一帯に築いた文明を、既存のアトランティスの名を付けて造ったものであり、これがアトランティス・ユードの研究者たちが主張するアトランティス南米説の起源となる。アトランティス（Atlantis）は北ソト語の〈atla（to prosper）＋ntisa（to care）〉であり、atlaは韓国語の〈アドゥル（息子）〉の語源であって、遷都した首都を意味するという。

〈シュメール王名表〉においてBC 3,500年の〈大洪水〉以前の歴史をすべて足し合わせると、韓半島に建てられたソルムンデハルマンのマゴ王国の起源であるBC 12,000年が算出されるという。

セソト族がケルト族であり

Ⅲ. 아틀란티스神話と濟州神話の比較

수메르 홍수이전 시대

도시	통치자	단위	기록연도	환산연도(년)	기간(년)	연도(BC)	시대
에리두	알룰림	8 sars	28,800	480	1080	11,200	마고시대
	알라가르	10 sars	36,000	600		10,120	
바드티비라	엔엔루 안나	12 sars	43,200	720	1200	8,920	황궁씨 시대
	엔멘갈 안나	8 sars	28,800	480			
	두무지	10 sars	36,000	600	1080	7,840	황궁씨 및 아틀란티스
라라크	엔-시파드-지드-아나	28800년	28,800	480			
시파르 슈트팍	엔-멘-두르-아나	21000년	21,000	350	660	7,180	황궁씨
	우바라-투투	18600년	18,600	310			
계			241,200	4,020			

Jack Finegan(1974)

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較ーソルムンデハルマン

ソルムンデハルマン説話の大筋は次のとおりである。

- 1) 昔、済州島には〈天地を創造した女神〉に相当する老婆がいた。
- 2) その老婆はスカートの裾に〈土を盛って数多くのオルムを造り〉、漢拏山もその一つであった。
- 3) 老婆は〈済州と韓半島南海岸を結ぶ〉能力があり、実際に結ぼうとした。
- 4) ところが老婆の〈要求条件は絹百反〉であり、民はこれを〈完納できなかった〉。
- 5) 結局、ハルマンは〈陸地との連結に失敗〉し、〈水に落ちて死んだ〉。

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較ーソルムンデハルマン

- 1) ソンムンデハルマンは天地を創造した女神であった…これは最終氷期に海水が引いて大陸棚が陸地として現れた時期の女性族長であったことを示す。
- 2) 土で多くのピラミッド状の土塁を築いた。これは西南海の大陸棚大平原に洪水が周期的に氾濫したため、生き延びるために高い土塁を築いて居住し、平時には下りてきて農耕や狩猟を行ったことを意味する。
- 3) 済州島と韓半島南端をつなごうとした。氷期には海水面が現在より130m低くなり済州島と韓半島がつながっていたが、ただ黄河や鴨緑江・漢江などが合わさった大河がその間を流れていたため、橋を架けねばならなかった…
- 4) ハルマンは民に紬100束を求めたが99束しか受け取れなかった。当時の貨幣は代表的な商品である麻布(麻)であったが、後の歴史時代には紬が貨幣に代わり、ハルマンは統治者として民に税を求めたのである。そして、民がハルマンの求めた税を完納できなかったことは反乱事件があったことを示し、ハルマンは政権を奪われ、国が大きな混乱に陥ったことを示す。
- 5) ハルマンは陸地との連結に失敗し水に落ちて死んだ…これは後氷期に至り氷河が溶けて海水があふれ、国が滅亡し多くの民が水没し、ハルマンの時代が永遠に海水の中に消え去ったことを意味する。

Ⅲ．アトランティス神話と済州神話の比較－尊者庵址

現在、済州特別自治道記念物第43号に指定されている。一部では済州仏教の発祥地と推定する見方もある。このような推定は、洪裕孫の「尊者庵改構誘引文」における「尊者という名の庵が造られたのは三姓(三姓)が初めて起こった時であった」という一文と、『大蔵経』法住記の第6尊者・跋陀羅が阿羅漢とともに住んだという耽没羅洲(耽没羅洲)を済州島に比定したことに大きく由来する。)



Table of Contents

I. はじめに

II. スンダランドの中心地としての済州島

III. アトランティス神話と済州神話の比較

IV. 君子国と済州神話の比較

V. おわりに

IV. 君子国と済州神話の比較



IV. 君子国と濟州神話の比較



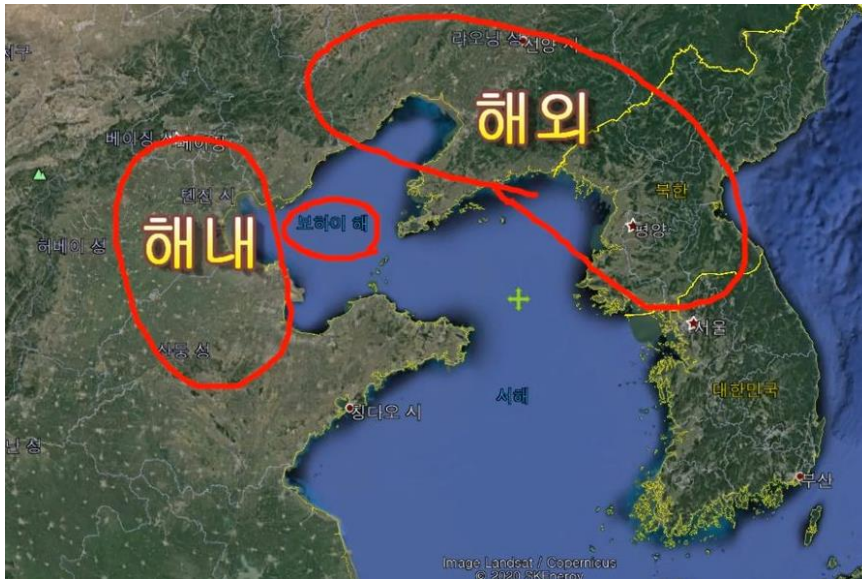
『관자管子』 〈소문小問〉

옛날 천자는 중앙에 있어
지방천리를 다스린다.
昔者天子中立 地方千里

『회남자』 〈지형훈隆形訓〉

동쪽에는 군자국이 있고,
동남쪽에서 동북쪽으로 대인국,
군자국, 흑치민, 현고민, 모민, 노민이 있다.
東方有君子之國 … 自東南至東北方 有大人國
君子國 黑齒民 玄股民 毛民 勞民

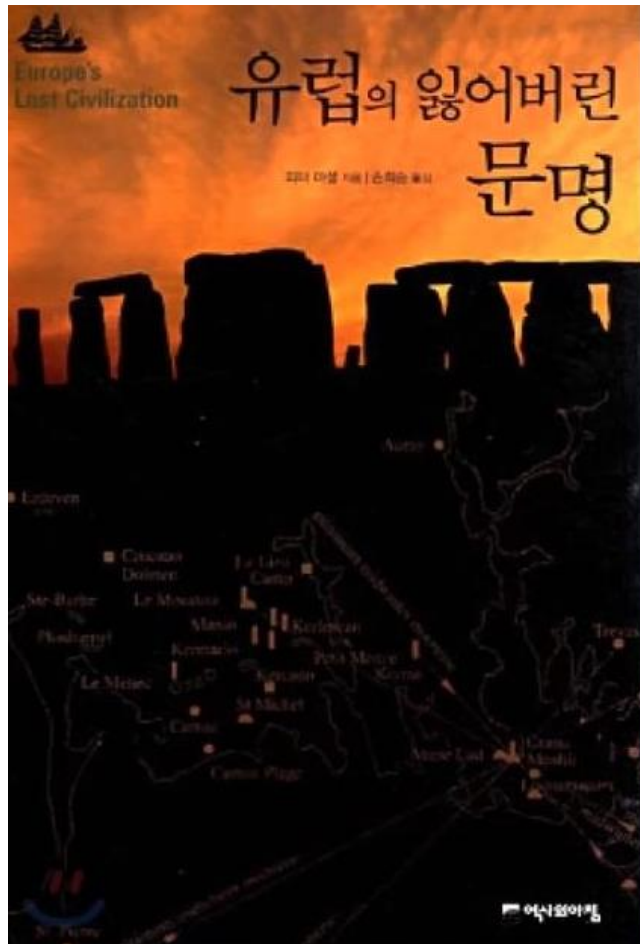
IV. 君子国と濟州神話の比較



『산해경山海經』 〈해외동경海外東經〉

해외의 동남쪽 귀퉁이에서
동북쪽 귀퉁이에 이르는 지역.
의관을 갖추고 칼을 찬다.
짐승을 먹고 큰 호랑이 두 마리를 부리며
결에 둔다. 그 사람들은 서로 양보하는 것을
좋아하며 다투지 않는다.
무궁화가 있는데 아침에 피고 저녁에 진다.
海外自東南隅至東北隅者…君子國在其北衣冠帶劍
食獸 使二大虎在旁 其人好讓不爭 有薰華草 朝生夕死

IV. 君子国と濟州神話の比較



기원전 9000년경 빙하시대가 끝나고
빙원이 물러날 무렵, 인류는 북유럽
탐험에 나섰다. 주로 바다를 통해 와서
강을 따라 탐험했다. 기원전 6500년경
지구 온도가 상승하면서 해수면이
30미터 이상 올라갔다.

아일랜드와 영국을 유럽 대륙과 연결하던
땅이 잠겼다. 대서양의 따뜻한 바닷물이
북해로 흘러 들어갔다.

- 『유럽의 잃어버린 문명』35쪽

IV. 君子国と済州神話の比較

해양족 남색족의 이동



동이 - 산둥반도쪽 동이 = 남색족
만주동이 = 혼혈

산둥반도의 동이는 태평양 섬들에 사는
폴리네시아Polynesia 사람들의 특징 있음

전 세계 고대문명이
비슷한 이유

IV. 君子国と濟州神話の比較

『한서』〈율력지律曆志〉

창림은 창의를의 아들이다.

천하에서는 고양씨라 한다.

蒼林昌意之子也 ... 天下號曰高陽氏

창성할 창昌 = 푸른 나무들이 우거짐 = 남색 암시

황제 헌원은 원래 창제로 남색족
그 자식들 역시 남색족.

25명의 자식들 가운데

청양(=현효=소호)은

이름에서 볼 수 있듯 남색족

『예문류취』〈염제신농씨〉

〈춘추명력서〉에 전하길 신인이 있어 석년이라 이름 지었다. 얼굴은 푸른빛에 눈썹이 크며 옥리를 머리에 이었다. (옥리는 옥영과 같은데 신농씨이다)

《春秋命歷序》曰 有神人 名石年 蒼色大眉 戴玉理
(玉理 猶玉英 神農也)

IV. 君子国と濟州神話の比較



『삼국사기』 〈김유신열전金庾信列傳〉

신라 사람들이 스스로 이르기를,
소호금천씨의 후예이므로 성을 김이라 한다고 하였으며
「김유신 비문」에도 헌원의 후예요 소호의 자손이라
하였으니 남가야의 시조 수로와 신라는 같은 성씨였다
羅人自謂少昊金天氏之後 故姓金 庾信碑亦云 軒轅之裔
少昊之胤 則南加耶始祖首露與新羅 同姓也

사기의 족보

헌원 -(장남)소호금천(청양,현효)-교극-제곡고신-요

- 설契 은나라

- 직稷 주나라

- 신라 - 금 - 청

헌원 -(차남)창의-고양- ~ -고수-제순

- 곧 - 우 하나라

- 고구려, 백제

IV. 君子国と済州神話の比較

IV. 君子国と濟州神話の比較

순임금이 중앙국 2대 제로 즉위했으나 장남 소호가문의 서쪽 고망국과 차남 창이가문의 아메리카 부락국에서 이를 따르지 않은 것으로 보인다. 그래서 『여씨춘추呂氏春秋』 《사용론士容論》 <무대務大>에 순은 해외를 복속하고자 했으나 이루지 못하고 제위에 오른 것에 만족해야 했다고 했을 것이다.

옛날에 제순은 바다밖의 나라들을 복속하고자 했으나 이루지 못했고 제의 지위를 이룬 것에 만족해야 했다.

昔有舜欲服海外而不成 既足以成帝矣

IV. 君子国と濟州神話の比較

요임금 때의 대홍수로 인해 중앙국의 수도가 발해바다 속으로 가라앉은 것으로 보인다. 현원의 첫 도읍은 탁록이었는데 여기도 황해바다로 가라앉았을 것이다. 요하문명의 하류에 있던 초기 군자국의 수도가 가라앉은 것이다. 상전벽해라는 말이 여기서 유래했다고 본다. 『사기』 <봉선서封禪書>에 삼신산은 발해 속에 있다고 하니 발해바다 속으로 가라앉았다는 말이다.

(제나라)위왕·선왕·연나라 소왕 이래로 사람을 시켜 바다로 들어가서 봉래·방장·영주를 찾게 하였다. 이 삼신산은 발해 속에 있다고 전해지며
自威 宣 燕昭 使人入海求蓬萊 方丈 瀛洲 此三神山者 其傳在勃海中

IV. 君子国と濟州神話の比較

통일한 전세계를 고망국, 중앙국, 부락국의 셋으로 나눠 통치했다고 『열자』 <주목왕>에 나온다. 고망국에 해당하는 서쪽 1만 2천리는 헌원의 장남이며 신라 김씨의 시조인 소호금천이 다스렸다고 『회남자』 <시척훈>에 나온다. 동쪽 부락국은 헌원의 둘째 아들이며 전욱고 양의 부친인 창의가 다스린 것으로 보인다. <오제본기>에 좌우대감을 두어 만국을 감독했다고 했으며 또한 두 아들 모두 천하를 얻었다고 했기 때문이다. 중앙국 1만리는 헌원이 직접 다스리다 전욱에게 물려주었고 제곡고신, 요, 순임금까지 해서 <오제본기>에 자세히 기록되어 있으니 <오제본기>는 한족의 역사가 아닌 동이족의 중앙국 역사를 쓴 것이다.

IV. 君子国と済州神話の比較

西極之南隅有國焉(西極の南隅に国有り)

西の果ての南の隅に一つの国がある。

不知境界之所接(境界の接する所を知らず) 名古莽之國(名づけて古莽の国と曰う)

この国の国境がどこまでか分からないが、その名を古莽国という。

陰陽之氣所不交(陰陽の気交わらざる所) 故寒暑亡辨(故に寒暑の弁無し)

陰陽の気が互いに交わらないため、寒さと暑さの差がなく、

日月之光所不照(日月の光照らさざる所) 故晝夜亡辨(故に昼夜の弁無し)

日の光と月の光が射さないため、昼と夜の区別がない。

其民不食不衣而多眠(其の民食わず衣ず而して多く眠る)

その国の民は食べもせず着もしないが、よく眠る。

五旬一覺(五旬に一たび覚む)

50日に一度だけ目を覚ます。

以夢中所爲者實(夢中に為す所を以て実と為し)

夢の中でしたことを事実だと思い、

覺之所見者妄(覚めて見る所の者を妄と為す)

目覚めて目で見たことをすべて虚妄だと思う。

四海之齊謂中央之國(四海の齊しきを中央の国と謂う)

また四方の距離が等しい国を中央国という。

跨河南北(河の南北に跨り)

大河が南と北にまたがって流れ、

越岱東西(岱を東西に越え) 萬有余里(万有余里)

高い山が東と西にあって、地方はすべて一万余里に及ぶ。

其陰陽之審度(其の陰陽の度を審らかにす) 故一寒一暑(故に一寒一暑)

陰陽の度数が明確であるため、寒くもあり暑くもある。

昏明之分察(昏明の分を察す) 故一晝一夜(故に一昼一夜)

暗黒と光明の区別が明確であるため、昼にもなり夜にもなる。

其民有智有愚 (きみんゆうちゆうぐ)

その国の民は知恵ある者もいれば愚かな者もいる。

IV. 君子国と済州神話の比較

萬物滋殖（ばんぶつじしよく）才藝多方（さいげいたほう）
あらゆる物が繁栄する。才能も多方面にわたる。
有君臣相臨（ゆうくんしんそうりん）禮法相持（れいほうそうじ）
君主と臣下が互いに相まみえることもある。礼儀も互いに整え、法律も互いに守る。
其所云爲（きしようにい）不可稱計（ふかしようけい）
彼らが言葉を交わし事をなすことがあまりに多く、到底数え尽くすことができない。
一覺一寐（いっかくいちび）
この国の民は昼には目覚めており、夜には眠っている。
以爲覺之所爲者實（いいかくしそいしゃじつ）夢之所見者妄（むししよけんしゃもう）
昼に目覚めてなすことを事実とし、夢に見るものをすべて虚妄なものとする。
東極之北隅有國（とうきよくしほくぐうゆうこく）、曰阜落之國（えつふらくしこく）
東の果ての北の隅に一つの国があり、その国の名を阜落国という。
其土氣常燠（きどきじょういく）日月餘光之照（じつげつようこうししょう）
その地は常に暖かく、日の光と月の光が常に照らしている。
其土不生嘉苗（きどふせいかびょう）
その地には美しい穀物の穂も生じない。
其民食草根木實（きみんしよくそうこんぼくじつ）
その国の民は草の根と木の実だけを食べ、
不知火食（ふちかしよく）
火を焚いて飯を炊いて食べることを知らない。
性剛悍（せいごうかん）彊弱相藉（きょうじゃくそうしゃ）
性質が強く荒々しく、弱肉強食をなす。
貴勝而不尚義（きしょうじふしょうぎ）
ゆえに戦って勝つことだけを良しとし、義理を尊ばない。
多馳歩（たちほ）少休息（しょうきゅうそく）
しばしば忙しく駆け回り、休息が少ない。
常覺而不眠（じょうかくじふみん）
常に目覚めていて眠らない。

IV. 君子国と濟州神話の比較

『후한서』에도 평양은 요임금의 도읍이라고 나오니 무진년 평양에
도읍한 단군은 요임금일 가능성도 있다.

평양후국에 철이 난다. 요의 도읍지이다.

平陽侯國 有鐵 堯都此

Table of Contents

I. はじめに

II. スンダランドの中心地としての済州島

III. アトランティス神話と済州神話の比較

IV. 君子国と済州神話の比較

V. おわりに

V. おわりに



물병을 든 아나히타



ありがとうございました